

(資料提供)

月 日	担 当 課	電 話	担当者
3月30日	株式会社ローソン中四国ローソン支社 徳島ディストリクト	088-623-8813	福永
	生涯学習政策課 文化の森振興室	内線(3196)	土居
	徳島県立近代美術館	088-668-1088	友井

## 徳島県立近代美術館特別展「オランダ絵本作家展」前売券 ローソン一部店舗での販売取り扱い（業務提携の一環）に ついて

株式会社ローソンと徳島県は、平成18年12月4日に締結した、「包括業務提携に関する基本合意書」に基づき地域に密着した協働事業の1つとして、ローソンPLUS店を始めとする一部店舗において、4月から近代美術館で開催される特別展「オランダ絵本作家」展より、前売券販売を取り扱います。概要は以下のとおりです。

従来、近代美術館特別展においては、文化の森（美術館）が所在する徳島市近郊エリアを中心として前売券を販売していましたが、県内一円に店舗を有し、地域に密着したコンビニであるローソンとの協働事業により、販売エリアが大きく拡張することとなり、県民の皆さまにとっても、より足を運びやすい形になったと考えています。

### 1. 販売期間

4月1日から展覧会会期の前日（4月20日）まで

### 2. 取り扱い店舗

次のローソン10店舗（ローソンPLUS全7店舗を含む）で取り扱い。

店 舗 名	所 在 地	PLUS	店 舗 名	所 在 地	PLUS
徳島津田本町店	徳島市津田本町 4-452-1	PLUS	阿波病院前店	阿波市平川原南 1-1	PLUS
徳島安宅3丁目店	徳島市安宅 3-6-33	PLUS	徳島不動店	徳島市不動本町 2-215-1	PLUS
徳島八万町下福万店	徳島市八万町下福万 82-4	PLUS	徳島中吉野町店	徳島市中吉野町 3-7-2	
鳴門市役所前店	鳴門市撫養町南浜字 浜田 79-1	PLUS	東みよし町 昼間店	三好郡東みよし町 昼間字大畑 918-1	
阿南新野店	阿南市新野町廿枝 56-1	PLUS	海陽町杉谷店	海部郡海陽町大里字 杉谷 78-4	

### 3. 販売券種・価格

「一般」及び「高校生・大学生」の2種（一般480円、高大360円）

※ 前売券特典としては、

1) 当日券の20%引きとなっています。

2) 特別展の絵柄などが入ったチケットです。（当日券は文字のみ）

#### 4. 留意点、今後の方針など

今回の取り扱いについてはパイロット的なもので、1店舗あたりの取扱枚数は限定的なものとなっています。売り切れの場合などはご了承ください。

なお、今後、19年度美術館特別展（参考「開催予定一覧」）について同じ形で前売券販売を進めていく予定です。今回の取り組みが好評の場合には、取扱枚数や取扱店舗の拡大についても検討していきます。

#### 5. 他の前売券販売所

文化の森ミュージアムショップ、徳島県職員生活協同組合（徳島県庁内）  
徳島新聞社、小山助学館本店、紀伊国屋書店徳島店

※なお、展覧会の概要は、別添「オランダ絵本作家」展チラシを参照にしてください。

#### （参考）19年度近代美術館特別展 開催予定一覧

企画展名称	開催期間	内 容
「オランダ絵本作家」展	4/21 ～ 7/1	オランダ絵本界の巨匠といわれるマックス・ベルジュイスとディック・ブルーナの作品を中心に、現在活躍しているオランダの絵本作家10人を選出し、オランダ絵本の魅力を日本に伝える本格的な展覧会です。
「美術の国徳島 1 昭和の帝展、文展作家」展	7/21 ～ 10/8	近代美術館では、開館以来、「徳島ゆかりの美術」を、重要な柱の一つと位置付け、調査研究と収集を行ってきましたが、その成果として徳島ゆかりの作家たちの活動を連続企画で紹介します。第1回の今回は、大正から昭和初頭の美術界で活躍した清原重以知、伊原宇三郎、服部仁郎など官展系の作家を紹介します。
「日本画—和紙の魅力を探る」展	11/13 ～ 12/27	古くから紙は日本絵画の素材として使われてきました。画家たちは、材料や製法、また産地による紙の個性を活かして表現と結びつけてきました。本展覧会では、第1部として和紙を使った日本絵画の歴史を、古い絵巻物や障壁画から近代の横山大観、村上華岳らの作品までを名品で辿ります。第2部では、第一線で活躍している日本画家による和紙を用いた自覚的な探求の紹介するとともに、徳島県で取材し、阿波和紙に描いた新作も紹介します。第3部は和紙そのものを展示する小コーナーとします。
「現代アートによる徳島再見」展	2/9 ～ 3/23	この催しは、徳島を舞台に造形作家岩野勝人氏のコンセプトを具体化する展覧会です。展覧会場は、岩野氏が県内各地を訪れ、出会った自然や文化、産業を元にその場で構想を練り、作り上げた作品で構成されます。こうした制作活動は、現代アートの視点を通じて、徳島の自然や文化、伝統産業を見つめ直す活動でもありますし、現代アートを身近なものと感じていただく機会ともなります。